

# 外国語科学習指導案

令和5年10月 日 ( )

1 単元名 Program 5 The Story of Chocolate  
Sunshine English Course 3

2 本単元で扱う領域における「CAN-DO リスト」形式による学習達成目標 (第3学年)

| 聞くこと  | 読むこと   | 話すこと [やり取り]  | 話すこと [発表]  | 書くこと   |
|---|--|--|--|--|
| はっきりと話されれば、電車の乗り換えや非常時のアナウンスなどについて、必要な情報を聞き取ることができる。      | 食文化やスポーツなど、日本と海外の比較について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。  | 生活や、あらゆる文化・スポーツなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。                            | 生活や、あらゆる文化・スポーツなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。                                | 生活や、あらゆる文化・スポーツなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。                          |
| PU1 PU4   | P1 P3  | P1 P2 P3 P4 OP7  | P1 P2 P3 P4 OP8  | PU3 OP8  |
| はっきりと話されれば、最も思い出に残っている学校行事や自分の好きなことなどについて、話の概要を捉えることができる。 | 睡眠が生活に与える影響やASL(アメリカ手話)について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。 | 社会生活で必要なことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。  | 日々の出来事や、自分の思いなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。                           | 中学校生活の思い出について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。        |
| P1 P2 P3 P4 SP  | P2 P4  | PU1 PU2  | SP   | SP   |
| はっきりと話されれば、国際協力や自然環境問題などについて、短い説明の要点を捉えることができる。           | 自然環境問題や平和問題などについて、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。           | 国際協力や環境問題などに関して、聞いたことや読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 | 国際的人権問題やAIの普及などに関して、聞いたことや読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 | 国際理解や平和などに関して、聞いたことや読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 |
| P5 P6 P7  | R1 P5 P6 P7 R2 FR1 FR2                                     | R1 P5 P6 P7 R2   | P6 P7  | OP7 R2   |

### 3 単元における指導構想

#### (1) 教材観

本単元は、健とエミリーがグループ発表でチョコレートを題材にすることとした会話から始まる。その後、実際の健とエミリーの発表原稿という構成である。健は現代のチョコレートがどのように生まれたのかについて、エミリーはチョコレート産業の隠された部分について発表している。

言語材料としては、主格の関係代名詞が扱われており、人やものを詳しく説明する力を養うことができるものとする。

#### (2) 生徒観

本学級の生徒は、生徒によって英語の理解度には大きな差があるものの、ペアやグループで行う活動に積極的である。日々の Small Talk やプレゼンテーションなどの活動を通して、日常的な話題や関心のある事柄について話したり、質問したりすることができるようになってきている。しかし、社会的な話題や発展的な話題を取り扱った活動では、理由や具体例を用いて話すことに苦手意識をもっている生徒が多く見られた。お互いに意見を出し合い、様々な視点から考え、社会で起こっている出来事や問題についても自分自身の課題として捉えさせていくことが必要である。

#### (3) 指導観

チョコレートという身近な食べ物の発達過程を知るとともに、その背景に原料となるカカオ栽培で搾取されてきた人々の存在にも気付かせ、国際社会の多面的な理解を促進し、国際的な課題について自分の意見を表現させたい。単元を通して相手が言ったことに反応したり、質問したりすることに焦点をあてて指導し、やり取りを継続させ、周りの意見を参考にしながら自分の考えを即興で述べる力を身に付けさせたい。さらに即興的なやりとりだけで終わらせるのではなく、単元終了後のライティングテストで自分の考えをもう一度整理させ、表現させたい。

単元末のパフォーマンステストでは、国際的な課題について聞いたり読んだりしたことについて、感じたことや考えたこと、自分の意見などを3～4人のグループにおいて即興でやりとりさせる。

### 4 単元の目標

国際的な話題について聞いたり読んだりしたことについて、感じたことや考えたこと、自分の意見などを述べ合うことができる。

### 5 単元の評価規準（「話すこと [やり取り]」の評価規準）

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--|--|--|
| (知識)<br>主格の関係代名詞の特徴やきまりを理解している。<br>(技能)<br>主格の関係代名詞を用いて、人やものを説明する技能を身に付けている。 | 国際的な話題について聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、自分の意見などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 | 国際的な話題について聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、自分の意見などを、簡単な語句や文を用いて述べ合おうとしている。 |

6 指導と評価の計画（8時間）

| 時間          | ねらい（■）、言語活動等（丸文字）  | 評価 |   |   | 備考 |
|-------------|--|----|---|---|----|
|             |  | 知  | 思   | 態 |    |
| 1           | <p>■単元の目標を理解する。</p> <p>①帯活動（Small Talk）</p> <p>②主格の関係代名詞を使ったクイズに取り組む。</p> <p>③主格の関係代名詞の特徴やきまりを理解する。</p>  |    | 記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かす。 |   |    |
| 2           | <p>■主格の関係代名詞の特徴やきまりを理解し、活用する。</p> <p>①帯活動（Small Talk）</p> <p>②Scenes の音読をし、暗唱をする。</p> <p>③Listen 絵に合うクイズを聞いて、答える。</p> <p>④Round Table 本文に関連した問いにグループで回答する。</p>       |    |   |   |    |
| 3           | <p>■チョコレートに関する英文の内容を捉え、教科書中の絵について口頭で説明する。</p> <p>①帯活動（関係代名詞を使ったクイズ）</p> <p>②チョコレートの歴史についての対話文を読んで、内容を理解する。</p> <p>③音読練習をし、教科書中の絵についてペアで説明し合う。</p>                    |    |   |   |    |
| 4           | <p>■チョコレートに関する英文の内容を捉え、要点を表した絵を描き、その絵について口頭で説明する。</p> <p>①帯活動（前時の振り返り）</p> <p>②チョコレートについての紹介文を読んで、内容を理解する。</p> <p>③読んだ内容について要点を表した絵を描く。</p> <p>④ペアで書いた絵について説明する。</p> |    |   |   |    |
| 5           | <p>■絵や写真を用いて、要点をおさえて本文の内容を伝える。</p> <p>①音読 個別にデジタル教科書の音声聞いて音読する。</p> <p>②情報整理 必要な情報をメモする。</p> <p>③Retell ペアを変えながら3回 Retelling を行う。</p> <p>最後に自分の考えを1文以上付け足す。</p>      |    |   |   |    |
| 6           | <p>■やり取りにおいて適切な反応や意見の述べ方を理解する。</p> <p>①帯活動（本文の振り返り）</p> <p>②本文を聞いた際に反応するとしたらどのような反応ができるかについて、教科書本文を参考に考える。</p> <p>③本文の内容に関する質問についてペアトークを行う。</p>                      |    |   |   |    |
| 7<br>本<br>時 | <p>■国際的な課題について知り、感じたことや考えたこと、自分の意見などを、簡単な語句や文を用いて述べ合い、より課題意識が深まる質問を考える。</p> <p>①帯活動（Small Talk）</p>  |    |   |   |    |

|        |   |   |   |   |  |
|--------|---|---|---|---|--|
|        | ②国際的な課題についての簡単な英文を読み、ペアで意見を述べ合う。<br>③グループで疑問点やさらに調べたい点を見つけ、タブレットを使って調べ学習をし、次時で使用する質問を準備する。  |   |   |   |  |
| 8      | ■国際的な課題についての紹介を聞き、考えたことや感じたこと、自分の意見などを、簡単な語句や文を用いて述べ合う。<br>①帯活動 (Small Talk)<br>②国際的な課題について聞き、意見を述べ合う。<br>③他のグループからの意見を踏まえて、自分たちの意見をまとめる。 |   |   |   |  |
| 後<br>日 | ペーパーテスト   | ○ |   |   |  |
|        | パフォーマンステスト  |   | ○ | ○ |  |
|        | ライティングテスト   |   | ○ | ○ |  |

記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かす。

## 7 本時の活動 (第7時)

### (1) 目標

国際的な課題について理解し、感じたことや考えたこと、自分の意見などを、簡単な語句や文を用いて述べ合い、より課題意識が深まる質問を考える。

### (2) 展開

| 時間                                       | 学習活動                                      | 指導上の留意点   | 評価の場面 | 評価方法 |
|--|---|---|-------|------|
| 3分                                       | 1 挨拶をし、Small Talk をする。                    | ・本文の内容に関連したトピックを用いる。                            |       |      |
| 5分                                       | 2 前時までの学習をペアクイズで振り返り、本時の目標とグループでの活動内容を知る。 | ・生徒が考えたクイズを用いる。                                 |       |      |
| 国際的な課題について自分の意見や考えを伝え、より課題意識が深まる質問を考えよう。 |   |   |       |      |
| 5分                                       | 3 自分たちのグループが担当する国際的な課題について知る。             | ・分からない単語をペアに聞いた<br>り、タブレットで調べたりしても<br>よいことを伝える。 |       |      |
| 5分                                       | 4 自分たちが担当する課題についてペアトークをする。                | ・2つのペアで行わせる。                                    |       |      |
| 8分                                       | 5 各自で自分たちのグループの課題について調べ、より課題              | ・タブレットを活用させる。<br>・各自思いついた質問を打ち込ん                |       |      |

記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かす。

|     |                                     |  |   |  |
|-----|-------------------------------------|--|---|--|
|     | 意識が深まる質問を考える。                       | でいく。   |   |  |
| 14分 | 6 グループでそれぞれのアイデアを共有し、次時で使用する質問を考える。 | ・できるだけシンプルな質問になるようにアドバイスをする。   | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かす。         </div> |  |
| 10分 | 7 次時で使用する資料を整理する。                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループから出る可能性の高い意見を予想する。</li> <li>・必要があれば、単語の意味や絵などを付け足すよう指示する。</li> </ul> |   |  |

### 8 評価及び指導の例（「話すこと [やり取り]」）

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 「十分満足できる」と判断される状況 (a)            | 既習の表現を用いて、感じたことや考えたこと、自分の意見などを、述べ合い、情報の交換によって会話を深めることができている。                      |
| 「おおむね満足できる」状況 (b) を実現するための具体的な指導 | やり取りの際に必要な表現や情報をペアで確認させたり、良い反応例を共有したりするなどして、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるよう支援する。          |
| 「努力を要する」状況 (c) と判断した生徒への事後指導     | 個別指導をし、分からない語句について再度確認する。また、汎用性のたかい反応の仕方や表現について個別に提案し、「おおむね満足できる」(b) を達成できるようにする。 |